

Inclusionを推進するとしており、その実現に向け、「人権尊重」「Diversity & Inclusion」「新しい働き方・職場づくり」という3つのチャレンジを掲げて、取り組んでいる。

まず、「人権尊重」のチャレンジにおいては、各国・各地域における法令や、文化・宗教・価値観などを正しく理解・認識することに努め、お客さまをはじめバリューチェーン全体の人権を尊重することで、企業としての人権尊重の責任を果たしている。

具体的には、③NTTグループ人権方針の遵守、④サプライチェーンを通じた社会全体への人権尊重の働きかけ、といったアクティビティに取り組んでいる。

③NTTグループ人権方針の遵守については、人権尊重を企業の重要な社会的責任と位置付け、持続可能な社会の実現をめざしており、2021年11月10日には、「NTTグループ人権方針」を制定し、バリューチェーン全体での遵守を図っている。

NTTグループは、この「NTTグループ人権方針」のもと、各国・各地域の法令や文化を尊重し、持続可能な社会の実現に向けて人権尊重の取り組みを推進しており、2023年度には、人権リスクマップの作成等を通じて、具体的な人権リスクの特定と対策を行っている。

また、④サプライチェーンを通じた社会全体への人権尊重の働きかけについては、サプライチェーン全体での人権尊重を推進するため、サプライヤーとの協力を通じて、労働環境の改善や人権侵害の防止に努めている。

次に、「Diversity & Inclusion」のチャレンジにおいては、多様な価値観を認め合い、多様な人材が活躍できる環境を構築して、イノベーションを促進することで、お客さまをはじめバリューチェーン全体のDiversity & Inclusion (D&I)を推進している。具体的には、⑤多様な人材の獲得、⑥多様な人材の活躍推進、といったアクティビティに取り組んでいる。

NTTグループは、90カ国以上で約30万人の社員が働く多様な組織として、D&Iを重要な経営戦略と位置付けており、この方針のもと、多様な人材の活躍促進を通じて、イノベーションの創出と持続可能な社会の実現をめざしている。

さらに、「新しい働き方・職場づくり」のチャレンジにおいては、リモートワークの推進により多様な働き方を充実させ、社員の満足度の高いワークインライフ（健康経営）を推進している。

具体的には、⑦多様な働き方・健康経営の推進（リモートスタンダード/ハイブリッドワーク等）、⑧自律的な能力開発の支援、といったアクティビティに取り組んでいる。

⑦多様な働き方・健康経営の推進（リモートスタンダード/ハイブリッドワーク等）については、多様な働き方を推進し、社員のワークライフバランスとエンゲージメント向上をめざしている。具体的な施策として、リモートワー

ク制度やスーパーフレックスタイム制、リモートスタンダード制度などを導入している。

また、⑧自律的な能力開発の支援については、多岐にわたる取り組みを実施し、自律的なキャリア形成を促すことによる社員一人ひとりの成長と組織全体の発展をめざしている。